

## KPIの進捗状況について（農業部分抜粋）

「日本再興戦略」、「『日本再興戦略』改訂2014」及び「『日本再興戦略』改訂2015」（以下「戦略」という。）に掲げられたKPIについて、現時点において、下記の方法により、その進捗状況をまとめたものである。

- 「KPI」の欄は、戦略の中短期工程表に掲げられたKPIを記載。
- 「主担当省庁」の欄は、施策群ごとに設定されたKPIの実現に特に関わる省庁名等を記載。
- 「KPIの出典」の欄は、KPIの数値の根拠となる統計名、調査名等を記載。
- 「最新の数値」の欄は、KPIの最新の数値を、時期（カッコ書き）とともに記載。
- 「KPIの進捗」の欄は、以下の区分により整理。
  - A：目標達成期間に対する経過期間の割合以上に、KPIが目標達成に向けて進捗しているもの
  - B：AほどKPIが進捗していないもの

F：施策の実行自体がKPIとなっており、年度ごと施策の実施状況を確認するもの  
 （KPIの例）遅くとも2020年を目途に電力システム改革を完了する。

N：今後、データが得られるため、現時点で評価困難なもの（今後、データが得られ次第評価を行う）

- 「KPIの進捗の詳細」の欄は、「KPIの進捗」の評価の理由等を記載。

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現

施策群：生産現場の強化

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
112	・今後 10 年間（2023 年まで）で全農地面積の 8 割が担い手によって利用される	50.3%（2014 年度末）	B	目標達成時期が 2023 年で、目標達成期間が 10 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。担い手への農地集積割合は、48.7%（2013 年度末）から 50.3%（2014 年度末）まで増加したものの、目標達成に向けては、「最新の数値」の時点で 51.8%まで増加していることが望ましいため、進捗は不十分であり、施策のさらなる推進等が必要。	農林水産省「耕地及び作付面積統計」及び経営局農地政策課調べ	農林水産省
113	・今後 10 年間（2023 年まで）で資材・流通面等での産業界の努力も反映して担い手のコメの生産コストを現状全国平均比 4 割削減する（約 9,600 円/60kg）	個別経営： 11,558 円 / 60kg（2014 年） 組 織 法 人 経 営：11,885 円 / 60kg（2014 年）	B	目標達成時期が 2023 年で、目標達成期間が 10 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。2014 年産米の担い手の生産コストは、2011 年産米の生産コスト 16,001 円/60kg（全国平均）と比べて約 3 割低くなっているものの、光熱動力費等の物財費が増加したことにより、前年産と比べ横ばいの、個別経営で 11,558 円/60kg、組織法人経営で 11,885 円/60kg となっている。  目標達成に向けては、「最新の数値」の時点で、個別経営で 11,197 円/60kg、組織法人経営で 11,698 円/60kg まで減少していることが望ましいため、進捗は不十分であり、施策のさらなる推進等が必要。	農林水産省「米及び麦類の生産費」及び「組織法人経営体に関する経営分析調査」	農林水産省

114	・今後 10 年間（2025 年まで）で飼料用米の生産性をコスト削減や単収増により 2013 年度比 2 倍に向上（担い手の 60kg 当たりの生産コストを 5 割程度低減）させる	—	N	本 KPI は、『「日本再興戦略」改訂 2015』において新規に設定された KPI であるため現時点で KPI の進捗状況を評価することは、困難。なお、現在、2015 年産飼料用米の生産コスト構造の把握を進めており、取りまとめ次第公表。	—	農林水産省
115	・今後 10 年間（2023 年まで）で法人経営体数を 2010 年比約 4 倍の 5 万法人とする	15,300 法人 (2014 年 2 月)	B	目標達成時期が 2023 年で、目標達成期間が 10 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。法人経営体数は、1 万 4,600 法人（2013 年 2 月）から 1 万 5,300 法人（2014 年 2 月）まで増加したものの、目標達成に向けては、1 万 8,140 法人まで増加していることが望ましいため、進捗は不十分であり、施策のさらなる推進等が必要。	農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」	農林水産省

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現

施策群：国内バリューチェーンの連結

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
116	・ 6次産業の市場規模を 2020 年に 10 兆円とする	4.7 兆円 (2013 年度)	N	6次産業の市場規模の概念については、6次産業をめぐる環境の変化等に伴い、昨年度、その射程について見直しを行ったところ。そのため、6次産業の市場規模は、「最新の数値」では、4.7 兆円 (2013 年度) であるものの、射程の異なるこれまでの市場規模の数値と比較して KPI の進捗を評価することは不相当であり、新たな6次産業の市場規模の射程に即した2014年度の市場規模が算出されるまで、評価は困難。	農林水産省「6次産業化総合調査」	農林水産省
117	・ 酪農について、2020 年までに6次産業化の取組件数を 500 件に倍増させる	284 件 (2015 年 4 月末)	A	目標達成時期が 2020 年で、目標達成期間が 6 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。酪農の6次産業化の取組件数は、236 件 (2014 年) から 284 件 (2015 年 4 月末) まで増加しており、KPI 達成のため現時点で必要な値である 280 件を上回った。	一般社団法人中央酪農会議調べ	農林水産省

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現

施策群：輸出の促進等

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
118	・2020 年に農林水産物・食品の輸出額を 1 兆円とし、2030 年に 5 兆円とする	6,117 億円 (2014 年)	A	目標達成時期が 2020 年で、目標達成期間が 8 年であるところ、「最新の数値」の時点で 2 年が経過。農林水産物・食品の輸出額は約 4,500 億円から 6,117 億円まで増加しており、KPI 達成のため現時点で必要な値である 5,873 億円を上回った。	財務省「貿易統計」	農林水産省